

一九四五番

朝霧あさぎりの 八重山やへやまこ越えて ほととぎす 卯うの花はな辺へか  
ら 鳴なきて越こえ来きぬ

一九四六番

木こだか高かくは かつて木き植うゑじ ほととぎす 来き鳴なき  
とよめて 恋こひ増まさらしむ

一九四七番

逢あひ難かたき 君きみに逢あへる夜よ ほととぎす 他あたし時ときゆ  
は 今いまこそ鳴なかめ